日本の秋を演出。やさしい風情の花。

＜植物名＞

ホトトギス

ﾄﾘｷﾙﾃｨｽ

総称

水やり

夏の乾くときには3日おきくらいにたっぷりと水やりをする。

置き場所

日なたから半日陰、保水性があり水はけの良い用土を好む。夏の強光を避ける。

用土肥料

粘土質を含む、やや重めの配合の土を好む。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

株分けは春、挿し芽は5～7月に行なう。

冬越し

特記事項なし。

使い方　鉢植え

学名	Tricyrtis hirta
英名	
属名	ホトトギス
科名	ユリ
性状（分類）	多年草
原産地	日本、ヒマラヤ～台湾
花の色	青紫、白、黄
開花期	9～10月
購入時期	
草丈	40～100 cm

ID　950

季節　秋　　JFコード　14409

冬越しと置き場所

日なたから半日陰、保水性があり水はけの良い用土を好む。夏の強光を避ける。

その他の解説

乾燥すると下葉が枯れるため、夏の乾くときには3日おきくらいにたっぷりと水やりをする。粘土質を含む、やや重めの配合の土を好む。株分けは春、挿し芽は5～7月に行なう。

特徴１

日本原産のホトトギスと、タイワンホトトギスなどの交雑品種が一般的。夏は乾燥しないようにたっぷりと水やりをする。日なたから半日陰で、夏の強光を避ける。

特徴2

一般に栽培されるのは日本原産のホトトギスと、タイワンホトトギスなどの交雑品種。初秋の涼しくなり始めたころに花を咲かせる。地下茎を伸ばして広がるため、なるべく面積の広い鉢に植えると良い。花びらに紫紅色の斑模様が入るものが基本種だが、黄花が咲くもの、花茎が垂れるものなど、多彩なバラエティーがある。